

CT 検査説明書 - 造影剤の副作用とリスクについて

1. 造影剤について

病気やけがの診断目的に応じて、より正確で詳しい診断を得るため、ヨード造影剤という診断目的のお薬を注射で使用します。

2. 造影剤の副作用とリスク

1) 造影剤に注意が必要な方

以下の条件に該当する方は、造影剤使用に当たって十分な注意が必要です。

- a. 気管支喘息の既往(特に現在、症状があり薬物治療中)のある方
- b. 過去にヨード造影剤や MRI 造影剤にアレルギーの既往のある方
- c. 薬物治療が必要なアレルギーやアトピー性疾患の既往のある方
- d. 他の薬剤や食料品などに過敏症、アレルギーの既往のある方
- e. 甲状腺機能亢進症(バセドウ病)と診断され、治療前や未治療の方

2) アレルギーによる副作用の内容と頻度

ヨード造影剤による副作用、アレルギー反応は、発疹やかゆみなど軽度の症状を含めた副作用全体では 3 %程度に発生します。アナフィラキシーと呼ばれる呼吸困難や血圧低下などの重い副作用は約 2 万 5 千人に 1 人程度の割合で発生し、ごくまれですが死亡例も報告されています。

3) 造影剤腎症(CIN)について

造影剤は主に尿から排泄されますが、腎臓の機能が正常であれば造影剤による腎臓への影響はありません。しかし、腎機能が著しく低下した状態で造影剤を使用した場合、特に高齢者、糖尿病や慢性腎臓病の病歴をお持ちの方は、腎機能をさらに悪化させることがあります。また、腎機能が著しく低下している場合、医師の判断により点滴を行ってから検査をすることもあります。

3. 心臓 CT 検査で事前に使用のお薬について

心臓 CT 検査(冠動脈 CT 検査)では、より正確な診断を行うため、脈拍を遅くする目的や冠動脈を拡げる目的で、原則として 2 種類の薬剤を検査直前に使用します。

あなたの検査リスクを正確に把握するため、検査前に必ず問診票の記入をお願いします。詳しいことをご知りになりたい方は画像診断受付にご相談ください。

